

# WEB マスタメンテ 2.0

I2C WEB Master Mainte 2.0

## インストールマニュアル

2005 年 12 月 20 日

株式会社 I2C (アイ・トゥー・シー)

プロダクトチーム

<http://www.i2c.jp/product/>

## 目次

---

はじめに.....	3
1. インストール.....	4
2. JDBC ドライバの配置.....	5
3. 初期登録ユーザー .....	6
4. バージョンアップ.....	7
5. 評価版の制限.....	8
参考: JDBC ドライバの入手と設定.....	9

---

## はじめに

---

### 対象読者

---

このマニュアルは、本ソフトのインストールと初期設定を行う管理者を対象としています。  
また、本ソフトのバージョンアップ(リビジョンアップ)を行う管理者を対象としています。

### 前提条件

---

インストールを行うには次のソフトウェアがサーバにインストールされている必要があります。

- ・ JRE1.22 以上 (Java 実行環境)
- ・ アプリケーションサーバ(Servlet2.1 準拠、JSP1.0 準拠 - Tomcat など)

### 標記規則

---

このマニュアルは、次の標記規則を使用しています。

表記	意味
AS_HOME	AS_HOME はアプリケーションサーバのホームディレクトリを示します。
<...>	山カッコは、各環境に基づく値を指定することを示します。
[...]	墨カッコは、画面の名称(タイトル)を示します。
「...」	鍵カッコは、画面の項目名を示します。
『...』	二重カッコは、マニュアル名またはその見出しを示します。

このマニュアルでは、OS:Windows2000、アプリケーションサーバ:Tomcat4.1.28 を次に示す情報でインストールした場合の例を併記しています。

Tomcat のホームディレクトリ	C:\¥tomcat
ポート番号	8080
ホスト名(IP アドレス)	localhost (127.0.0.1)
ログイン URL	http://localhost:8080/webmm/Login.do

---

## 1. インストール

---

### インストール

---

1. 本ソフトの WAR ファイル(webmm.war)を次に示すディレクトリに配置します。

#### WAR ファイルの配置先

<AS\_HOME>/webapps/webmm.war

#### (例)

C:\tomcat\webapps\webmm.war

2. アプリケーションサーバを起動(または再起動)します。
3. WAR ファイル名と同じ名前のディレクトリ(webmm)が作成されます。

アンインストールはアプリケーションサーバを停止して webmm ディレクトリを削除します。

---

### 使用許諾契約の同意

---

1. ブラウザから次の URL を指定します。  
(インストールした最初のアクセスの場合のみ、【使用許諾契約】画面が表示されます。)

#### ログイン画面の URL

http://ホスト名:ポート番号/webmm/Login.do

#### (例)

http://localhost:8080/webmm/Login.do

2. 【使用許諾契約】画面の「同意する」のチェックを選択して「実行」ボタンを押下します。  
正しくインストールが完了すると【ログイン画面】に遷移します。

Web サーバとアプリケーションサーバを連携している場合、ポート番号は不要です。

---

## 2. JDBC ドライバの配置

---

**データベースの操作を開始するには、データベースに対応する JDBC ドライバをあらかじめ配置する必要があります。**

---

1. 使用するデータベースの JDBC ドライバを次のディレクトリに配置します。

### JDBC ドライバの配置先

<AS\_HOME>/webapps/webmm/WEB-INF/lib

#### (例) Tomcat に postgresql.jar を配置した場合

C:\tomcat\webapps\webmm\WEB-INF\lib\postgresql.jar

2. JDBC ドライバの設定を反映するため、アプリケーションサーバを再起動します。  
(再起動を行うまで指定の JDBC ドライバは有効になりません。)

Java と JDBC ドライバのバージョンが適切でない場合、正しく動作しない可能性があります。  
『参考. JDBC ドライバの入手と設定』を参照して、適切な JDBC ドライバを配置してください。

### 3. 初期登録ユーザー

---

インストール直後には、初期登録ユーザーとして次のユーザー情報が登録されています。  
このユーザー情報は「システム管理権限」を保持しています。

初期登録ユーザーのユーザーID とパスワードは次のとおりです。

ユーザーID	i2c
パスワード	i2c

#### **重要事項**

セキュリティ上の観点から、システム管理権限を保持する新しいユーザーを追加して、この初期登録ユーザーは削除するかログイン権限をはずしてください。

ユーザー情報の操作は『システム管理マニュアル』を参照してください。

---

## 4. バージョンアップ

---

### バックアップ

---

バージョンアップ(またはリビジョンアップ)を行って、本ソフトの最新版を導入する場合、新しいバージョンを導入する前に、現在利用している次のディレクトリのバックアップを必ず取得してください。

#### バックアップするディレクトリ

ディレクトリのパス名	説明
<AP_HOME>/webapps/webmm/WEB-INF/lib	JDBC ドライバ
<AP_HOME>/webapps/webmm/WEB-INF/log	ログファイル
<AP_HOME>/webapps/webmm/WEB-INF/setup	すべて設定ファイル

#### バージョンアップ (リビジョンアップ) の手順

---

1. アプリケーションサーバを停止します。
2. 上の3つのディレクトリのバックアップを取得します。
3. <AS\_HOME>/webapps/ にある webmm ディレクトリを削除します。
4. 『インストール』に従って、新しい WAR ファイルをインストールします。
5. 再度、アプリケーションサーバを停止します。
6. バックアップしておいた上の3つのディレクトリを <AS\_HOME>/webapps/webmm/ にそれぞれ上書きして配置します。
7. アプリケーションサーバを起動します。

ディレクトリのバックアップの取得および再配置を行う場合、必ずアプリケーションサーバを停止してから行ってください。

---

## 5. 評価版の制限

---

### 評価版の制限

---

ライセンスキーを適用していない評価版は、初回導入日から90日間、すべて機能を利用することができます。

### 評価版の制限

- 初回導入から90日間はすべての機能を利用できます。
- 評価期間を終了すると、初期ユーザー「i2c/i2c」のみログインできます。  
(ログインの制限以外は、続けてすべて機能を利用できます。)
- ライセンスキーを適用することで、評価版はそのまま製品版として利用できます。

### ライセンスキーの登録

---

評価版から製品版への変更は、弊社より送付されるライセンスモジュールの配置とライセンスキーの登録を行うことで完了します。

1. ライセンスモジュールを `webmm/lib` ディレクトリに配置して、アプリケーションサーバを再起動します。

### ライセンスモジュールの配置先

<AS\_HOME>/webapps/webmm/WEB-INF/lib

### (例)

C:\tomcat\webapps\webmm\WEB-INF\lib\webmm\_lincence.jar

2. システム管理ユーザーでログインし、【システム設定】画面から【ライセンスキーの登録】画面を表示して、ライセンスキーを指定します。

## 参考. JDBC ドライバの入手と設定

### JDBC ドライバの入手

各データベースに対応する JDBC ドライバは次のサイトから入手できます。

データベース	ダウンロードサイト
DB2 UDB	(データベース製品に付属)
Firebird	<a href="http://firebird.sourceforge.net/index.php?op=files&amp;id=jaybird">http://firebird.sourceforge.net/index.php?op=files&amp;id=jaybird</a>
MySQL	<a href="http://www.mysql.com/downloads/">http://www.mysql.com/downloads/</a>
Oracle	<a href="http://otn.oracle.co.jp/software/tech/java/jdbc/index.html">http://otn.oracle.co.jp/software/tech/java/jdbc/index.html</a>
PostgreSQL	<a href="http://jdbc.postgresql.org/download.html">http://jdbc.postgresql.org/download.html</a>
SQL Server	<a href="http://www.microsoft.com/japan/msdn/sqlserver/downloads/jdbc/default.asp">http://www.microsoft.com/japan/msdn/sqlserver/downloads/jdbc/default.asp</a> <a href="http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;883370">http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;883370</a>
ODBC	(Java 標準添付)

最終確認日 : 2005.12.20

### JDBC のクラス名

データベースのクラス名 (接続先情報の JDBC ドライバの値) は次の通りです。

データベース	バージョン	JDBC ドライバ
DB2 UDB	8.1 まで	COM.ibm.db2.jdbc.app.DB2Driver
	8.2 から	com.ibm.db2.jcc.DB2Driver
Derby	10	org.apache.derby.jdbc.ClientDriver
Firebird	1.1, 1.5	org.firebirdsql.jdbc.FBDriver
HSQLDB	1.7, 1.8	org.hsqldb.jdbcDriver
MySQL	3.1 ~ 4.1	com.mysql.jdbc.Driver
Oracle	8 ~ 10i	oracle.jdbc.driver.OracleDriver
PostgreSQL	7.2 ~ 8.0	org.postgresql.Driver
SQL Server	7, 2000	com.microsoft.jdbc.sqlserver.SQLServerDriver
Sybase	10 ~ 12.5	com.sybase.jdbc2.jdbc.SybDriver

ODBC	-	sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver
------	---	------------------------------

## JDBC の接続先 URL

データベースの JDBC の接続 URL (接続先情報の接続 URL) の書式は次の通りです。

データベース	バージョン	接続 URL
DB2	6.1 ~ 8.0	jdbc:db2://serverName:50000/dbName
Derby	10	jdbc:derby://serverName:1527/dbName;create=true
Firebird	1.1, 1.5	jdbc:firebirdsql:serverName/3050: dbName
HSQLDB	1.7, 1.8	jdbc:hsqldb:hsqldb://serverName
MySQL	3.1, 3.2 4.0, 4.1	jdbc:mysql://serverName/dbName?useUnicode=true&characterEncoding=Windows-31J
Oracle	8 ~ 10i	jdbc:oracle:thin:@serverName:1521:dbName
PostgreSQL	7.1 ~ 8.1	jdbc:postgresql://serverName:5432/dbName
SQLServer	7.0 2000	jdbc:microsoft:sqlserver://serverName:1433;DatabaseName=dbName
Sybase	10 ~ 12.5	sybase:Tds:serverName:2638
ODBC	任意	jdbc:odbc:dataSourceName

serverName、dbName、dataSourceName、ポート番号は使用するデータベースのサーバ名(IP アドレス)、データベース名、ODBC のデータソース名、ポート番号を指定します。

## WEB マスタメンテ 2.0

I2C WEB Master Mainte 2.0

### 製品仕様

#### 製品名称

WEB マスタメンテ 2.0

#### サーバー環境

##### サーバーOS

JRE 1.22 以上が動作する OS: Windows, Linux, Solaris, FreeBSD, その他

##### アプリケーションサーバ

J2EE 準拠のアプリケーションサーバ (Servlet2.1, JSP1.0 準拠) :

Tomcat, WebSphere, WebLogic, その他

##### データベース

Cloudscape, DB2 UDB, Derby, Firebird, HSQLDB, MySQL, Oracle, PostgreSQL, SQLServer, Sybase

### クライアント環境

#### 対応ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 5.01 以上

Firefox 1.0 以上

NetscapeNavigator 7.0 以上

- \* 記載の内容は 2005 年 12 月現在のものです。
- \* 記載の内容、仕様は、予告なく変更することがあります。
- \* 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

株式会社 I2C (アイ・トゥー・シー)

---

プロダクトチーム

〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-1-16 フジタ東洋紡ビル 5F

E-mail. product@i2c.jp TEL. 06-6343-6666 FAX. 06-6343-6665

URL. <http://www.i2c.jp/product/>